

六丁目にお住いの

田中 優綺さん・鮎美さんの

長女 ^{はな} 華波 ちゃん (3歳11か月)

次女 ^{えな} 愛波 ちゃん (2歳0か月)

三女 ^{まな} 茉波 ちゃん (2歳0か月)



こんにちは！はな、えな、まなの3姉妹です！！
歌が大好きでテレビを見ながらダンス！ダンスしています♪

はなは自分のことを「おねーね」と言ってお姉さんらしく双子に優しくしてくれます。

ケンカもしますが楽しくてにぎやかな毎日です☆

みなさんのお宅のアイドルを募集しております。市役所へどしどしお寄せください！

下田サイハッケン 地域おこし協力隊の活動報告



地域おこし協力隊として、オリーブのまちづくり事業で活躍された口分田さんは、この11月末に下田を離れます。

3年間、市が保有するオリーブ栽培圃場の管理を行っていただきましたが、その苦労や思い出について振り返ります。



くふた ひろし
口分田 宙さん

無農薬栽培にチャレンジ

初年度は無農薬栽培を確立させて付加価値をつけることを目的に奮闘しました。

しかし、すぐに文字通り無数にわくハマキムシ等の駆除に膨大な時間が必要で、現実的ではないことを思い知ることになりました。

ゾウムシとの戦いの日々

2年目は記録的な台風にあうものの幸い軽微な被害で済みました。しかし、オリーブアナアキゾウムシの被害にあり、二樹を枯死させてしまいました。このゾウムシの存在はよく知っており、野口さんには最も警戒すべき害虫と教えていただいていたにも関わらず、1年半以上見ることがなかったことですっかり油断していました。

悔しい思いをバネに、ここからはオリーブを死守しようと決意したものの、このゾウムシの厄介さは想像を超え、3年目の今日も苦戦を続けています。

市の苗木配布事業を利用して幼木を育てている方も、ゾウムシには用心していただきたいです。株元の地表部にオガクズを散見したら、それがゾウムシの目印です。手で太い幹の部分全体を押し、ブカブカして凹む箇所をドリライバー等の先端が尖った道具で穿って駆除してください。

いちご農家を目指して下田は海が近く、温かい人も多くて住みやすいため、任期終了後も、ここ下田で農業を生業としたいとの夢を抱き、いろいろな農法や品種を検討しました。

しかし、この地で生活することは断念し、今後は伊豆の国市でいちご農家として研修を積み、新規就農する予定です。天城を超えたら目と鼻の先です。ので、何かの折に下田で受けた様々なご恩をお返ししたいけたらと思っています。

問合せ先 産業振興課農林係

☎ 3913

伊豆縦貫自動車道を早期完成しよう！！

「伊豆縦貫自動車道ロゴマーク」を利用して、伊豆縦貫自動車道の整備促進と活性化を県内外にPRしましょう！！ご利用方法については、以下の市ホームページをご覧ください。

■ 下田市ホームページ <https://www.city.shimoda.shizuoka.jp/>

